■ 基本計画策定における検討事項･整理イメージ

＜基本計画構成・骨子案＞	＜概　要＞	＜検討事項・整理イメージ＞
第１章　はじめに 1　基本計画策定の背景と目的 2　基本計画の位置づけ	● 基本構想を含む過年度の検討経緯を踏まえて、基本計画策定の目的・位置づけを整理する。	
第２章　基本的な考え方 1　新庁舎整備の基本理念・基本方針 2　検討方針	● 新庁舎整備の基本理念・基本方針を整理する。 ● 基本構想で検討設定した内容に基づき、導入機能、必要規模、施設計画、事業計画における検討方針(条件)を整理する。	□ 整備の方向性の設定・施設配置イメージ □ 庁舎に複合化(一体整備)する施設・機能の決定
第３章　新庁舎等の導入機能 1　基本方針を踏まえた庁舎機能・方策 2　複合機能 3　機能構成	● 設定した基本理念・基本方針を実現するために導入される庁舎機能及び方策を整理する。 ● 整備の方向性に基づき、複合機能を整理する。	□ 先行事例整理によるイメージ共有 □ 窓口の方向性整理 □ サードプレイス等市民利用施設の検討 □ 備えるべき防災機能の検討、浸水対策の方向性決定 □ 複合施設において必要な諸室・スペースの検討 □ 市民ワークショップにおける意見把握
第４章　新庁舎等の必要規模 1　庁舎の必要規模 2　複合施設の必要規模	● 基本構想における概略検討や前章までに整理した導入機能を踏まえ、諸室を具体化することで、庁舎の規模を精査・設定。 ● 複合施設の必要規模は、各機能の方針や先行事例、所管課の意向を踏まえて検討・設定する。	□ 他市事例との比較（人口・職員あたり）による妥当性の確認・精査 □ モデルプラン・面積内訳を作成し、概略規模検討の妥当性を確認・精査 □ デジタル化等による庁舎規模への影響考察 □ 部門アンケート結果による必要規模の検討・精査 □ コンパクト化の可能性検討 □ 複合施設に必要な諸室・スペースの規模検討
第５章　新庁舎等の施設計画 1　敷地概要 2　全体配置・動線計画 3　庁舎の平面・階層計画 4　構造・設備計画 5　景観・外構計画 6　複合施設の施設計画	● 設定した建設場所の敷地条件を整理する。 ● 敷地内における全体の配置・動線計画について、工事工程を加味したモデルプラン検討に基づき整理する。 ● 配置計画に伴い、施設内の機能の連関や基本的なレイアウト、階層計画を検討・整理する。 ● 構造・設備計画や景観・外構計画について、主要な性能や基本的な考え方・要件を整理・検討する。 ● 複合施設部分も庁舎と同様に基本的なレイアウト等を検討・整理する。	□ ローリング計画の検討 □ モデルプラン・整備イメージの作成 □ 構造・設備計画の主要な性能の整理
第６章　新庁舎等の事業計画 1　事業手法の検討 2　概算事業費・財源の検討 3　概略事業スケジュール 4　今後の事業の進め方	● 基本計画と並行して実施する民間活力導入可能性調査の結果を踏まえ、望ましい事業手法を検討・設定する。 ● 施設計画に基づき、概算事業費を検討するとともに、活用可能な財源を整理する。 ● 工事工程や設定した事業手法基づき事業スケジュールを検討し、今後留意が必要となる項目を整理する。	□ 事業手法の検討・設定 □ 上記を踏まえた事業費・事業スケジュールの検討 □ 活用可能な財源の整理 **民間活力導入可能性調査** □ 事業・前提条件の整理 □ 事業スキームの検討 □ 民間意向調査 □ VFM算定 □ PPP導入可能性の検討